

「えっちゃんのせんそう」(こどもの本コーナーから)

著者 岸川悦子 発行所 文溪堂

1945年、満州(現在の中国東北地方)の都市ハルビンからの作者自身の引き揚げ体験をもとに描かれたものです。その当時日本は、国策により満州へ多くの国民を送り出していました。そんな時代の中で、主人公「えっちゃん」の幼い目を通して見た戦争と、その苦難を乗り越えて生きていく姿が平和の尊さと生きる勇気を問いかけます。この本は映画化もされ、長編アニメーション映画「えっちゃんのせんそう」として好評を得ました。当男女共生センターにおいても去る3月に上映されました。

戦争を知らない世代が社会の中核を担う時代を迎え、かつて日本が行った戦争とその記憶が遠いものになりつつある今、20世紀の負の遺産を子どもたちの未来に繋げてはならない。幸せな未来は、大人の手で守らなければならない。そんな願いが込められている作品で、小学生から戦争体験者まで多くの人が鑑賞しました。まさにイラク攻撃が始まるうとしていた時期でもあり、戦争を許さず、平和を願う感想がたくさん寄せられました。

(I. M.)

福島県男女共生センター図書室だより

第11号
2003.6.20

ライブラリー

散歩道

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日 前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

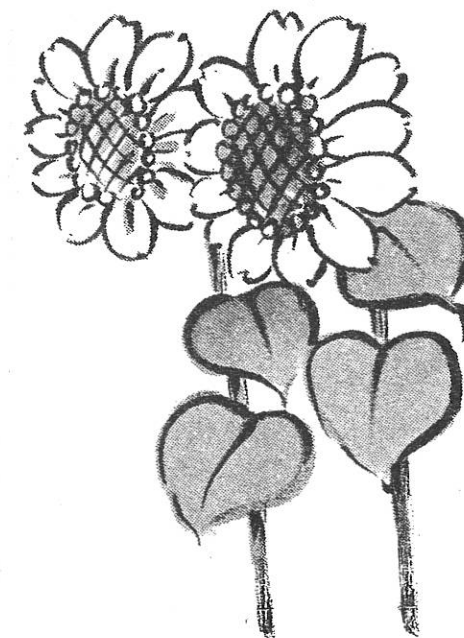
編集後記

初々しい若緑の色を見せていた木々もたくましい深緑に変わり盛夏がもうすぐそこまで来ている季節になりました。なんらかの形で戦争を体験してきた私ども編集員は平和の尊さをかみしめながら選書をしてみました。この美しい自然が美しいままに、悲しみの夏でなく平和な夏として過ぎていくことの幸せを感じながら・・・

今月のテーマ

「戦争を知らない世代へ」

— 平和の尊さ —



発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ~女と男の未来館~ ☎0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 1201 オ 1・2

女にとっての戦争①②「ひととき」欄の三〇年から

影山三郎、中村智子、草の実会編 田畑書店

朝日新聞に「ひととき」欄が誕生した1952(昭和27)年から1982(昭和57)年までの30年間に寄せられた、女性たちの戦争と平和を主題とする文を集めた全2冊の本です。まえがきに「とりわけ戦争を知らない若い人びとに贈りたいと思います」とありますが、私も戦争中に生まれた世代として強くそう感じます。日々の生活に根ざした女性たちの血の通った一文一文は、常に古くて新しいテーマ「戦争とは何か」を訴え、日常生活がある日突然破壊される悲劇のない世界を築きあげることの大切さを語りかけてくれます。(S. N.)

分類番号 1202 ニ 19

「丸木 俊」女絵かきの誕生一人間の記録⑨—

丸木 俊 日本図書センター

この本は、著者が原爆投下直後の広島が無残なようす—この世のあるまじき地獄の姿—を目の当たりにし、真実の姿を伝えなければの一念で取り組んだ「原爆の図」14部が完成するまでの一女流画家としての人間の記録です。1部の「幽霊」だけではまだ描き足りないという思いにかられ、「火」・「水」……と約30年間に亘って夫・位里との命懸けの共同制作が続けられたのです。

過去の戦争における女性の苦悩や怒りを、絵画を通して世界に訴え続けた筆者の平和への熱い思いが淡々とした文章で表現され、豊かな感性が伝わってきます。(I. M.)

分類番号 1101 タ K

「雑草のごとく」 高田なほ子 ドメス出版

1905年福島市に生まれ、福島師範で教育を受け、戦前・戦中・戦後を小学校の教師として過した著者、高田なほ子の日々を克明に綴った本である。大日本帝国という時代に生まれ、従順に、平凡に生き続けた或る日、狂ったように戦いのるつぼの中に突っ込んでいき、そして崩壊し、深い絶望と、人生の別離の苦悶と、飢えと、大混乱だけを残した時代。あとに続く若い人々が絶対に経験して欲しくない異常なドラマを書き残したかったのであろう。著者が仲間の教員と共にどのように考え、行動していったかを知るとは、これからの子供達を育て教育するすべての人々にとって大切なことである。再びこのような時代の来ないことを願って多くの若い人々に読んでもらいたい一冊である。

後に著者は、退職婦人教職員全国連絡協議会を結成し、高齢社会のくらしを視野に入れて元教師達と連携しながら、ひとりぼっちをなくそう、教え子を再び戦場に送るなどを掲げて活躍した。(K. K.)

分類番号 1201 へ

「戦争を生きぬいた女たち」—38人の真実の記録—

サリー・ヘントンはキーヴァ編著 加地永都子ほか訳 新宿書房

「この本にとりかかった時、受け身の犠牲者に会うだろうと予想していましたが、そういう人には会いませんでした……。女性たちがなにをやってきたか、どういう存在になれるのか、女性になにができ、そしてなにを考えられるかについてようやくわかり始めたところなのです。そうしたことがわからなければ戦争の過程だけでなく人間の条件そのものについての理解において重要な環を失ってしまいます。

戦争は時代を超えています。私たちの中に人間であるということの中に深く根を下ろしているなにかかもしれません。そうだとすれば、そして私たちが生きのびるべき存在だとするなら、女性が戦争で演じる役割を調べることは重要ですし、今こそ女性の言葉に耳を傾けるべき時代です」とくはじめに>で著者は述べている。38人それぞれの言葉はずっしりと心に響いてきた。(T. Y.)

戦争とは……?

—まず知って、語り継いでいくことの大切さ—

イラク戦争で、多くの人が「戦争」について考えをめぐらしたことと思います。日本でもいわゆる有事関連法の成立、教育基本法の改正、ひいては日本国憲法の改正問題等々、深く考えなければならない状態が生まれつつあります。

この号では、戦争の実態を正面から、あるいは側面からとらえた本を紹介します。日々の何気ない暮らしが続いていくことの幸せ、平和の大切さをかみしめるよすがとなればと思います。

分類番号 1202 オ

「私の仕事」 緒方貞子 草思社

国連難民高等弁務官としてジュネーブに赴任し、10年間の赴任期間に行った難民援助の活動を記録したエッセイ、日記、インタビュー、スピーチを選びまとめたもの。最高2,600万人にまで達した難民を救済するためにどのような国際協力が行われたのか、そこにはどんな問題が起きたのか、次々と噴出する難問に現場で指揮を執る著者はどう判断し対応したのか。著者の仕事を通じて、本書は戦争(内戦も含む)のむごたらしさとそれが続いている国際社会の現実を生々しく伝えている。(W. T.)

分類番号 1202 ク

「色のない空(虐殺と差別を超えて)」 久郷ボンナレット 春秋社

「私は今でも祖国カンボジアを愛している、そしてやはり私の心の故郷なのです。」という彼女は、1964年国立図書館勤めの父と教師の母との間に8人兄弟の4女としてカンボジア、プノンペンに生まれ、何一つ不自由のない暮らしを送っていました。それが突然1975年ポルポト政権による暴政の開始により、10歳で戦争を体験し14歳までに両親と兄弟4人を失い、自らも過酷な強制労働に従事させられ、死の瀬戸際をさまよいます。同じ国民同士で数百万という人間の虐殺が行われました。この恐ろしい、しかし現実に確かに起った出来事から、戦争や殺人の恐ろしさを知り、忘れがちな平和の大切さを思い起こすために読んでいただきたい一冊です。(K. M.)

こんな本もいかがですか？

	分類番号	書名	著者名	出版社
1	6108イ	竹取物語	入江酉一郎	「京の絵本」刊行委員会
2	6108タ	牛女	小川未明	偕成社
3	6108ヤ	犬とあるけば	山下明生	学研
4	6108ト2	もののけ姫	宮崎駿	徳間書店
5	6108ポ	ピーターラビット全おはなし集	ビアトリクス ポター	福音館書店
6	6108カ3	魔法の宅急便	角野栄子	福音館書店
7	6108ゲ	パパと10にんのこども	ベネディクト ゲッティエル	ひくまの出版
8	6108ブ	おやすみなさいおつきさま	マカレット リイズ ブラウン	評論者
9	6108ア	すてきな三にんぐみ改訂版	トニー アンガー	偕成社
10	6108ワ	ともだち	谷川俊太郎	玉川大学出版部
11	6108サ	おりょうりとうさん	さとうわきこ	フレーベル館
12	6108ナ	四季の輪舞 (ロンド)	永田萌	偕成社
13	6108ソ	まほうのたいこ	うちだりさこ	福音館書店
14	6108ヤ	なかにあるものなあに？	やなせたかし	フレーベル館
15	6108ニ	魔法からの贈り物	ジェニー ニモ	評論社

※お知らせ

当センターでは「絵本の読み聞かせ&ママとパパの読書タイム」を設けております。

毎月第4土曜日、10時～12時まで就学前のお子様をお預かりしております。どうぞご利用ください。

詳しくは、当センター調査研究室または図書室までお気軽にお問い合わせください。

《開催日》 平成16年 1月24日(土) 2月28日(土) 3月27日(土)

利用ガイド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日 前日 9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料にご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編集後記

今年は東北地方をはじめ米の不作で、お正月用のお餅の値上がりが必至とか。泥沼の様相を呈しているイラク情勢、子どもの虐待死など、目をそむけたくなるような事件が続き、心が暗くなります。でも、私達は次の世代を信じていきたいと思ひます。

今号で紹介した本が明るくたくましい子ども達を育ていくために、少しでも役立てばと思ひます。

発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～ TEL0243-23-8308 (図書室直通)

福島県男女共生センター図書室だより

第13号
2003.12.20

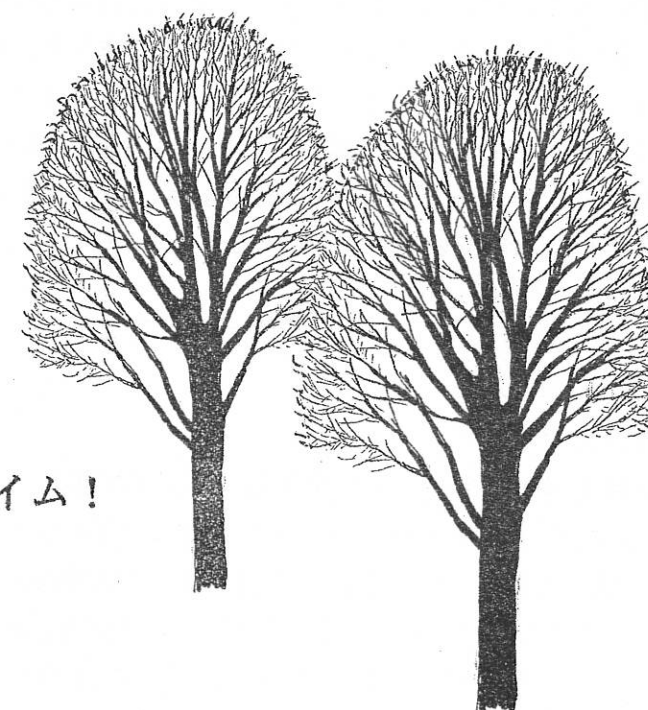
ライブラリー

散歩道

今月のテーマ

読書タイムは幸せタイム！

—こどもと共に—



分類番号 6108 コ

「およしおばんちゃの昔話十二ヶ月」

小林幸子 日本図書刊行会

明治元年生まれのおよしおばんちゃが曾孫である作者の子守りをしながらせがまれるたびに語り聞かせたという昔話の数々を書き留めたものです。核家族時代のいま、古き良き大家族の頃の祖父母から孫へ、また孫へと語り継がれてきたお話の数々を、ゆっくりゆっくり読み聞かせながら、お子さんといっしょに味わってみたいらいかがでしょうか。(W. T.)

分類番号 6108 キ

「本はいつでも友だちだった」新・のびのび人生論14

岸本葉子著 ポプラ社

読書によって1回きりの人生を、何倍にも何とおりに体験できる。読書によってどこへでも行けるし、だれにでもなれる。そのとおり！本ってすばらしい。いつでも本と友だちであるために、あなたも読んでみて。(S. N.)

分類番号 6108 カ

「ゆめのゆき」

エリック・カール作 あおきひさこ訳 偕成社

おじいさんが農場で飼っている動物達の名前は、イチ（うま）、ニー（牛）、サン（羊）、シイ（豚）、ゴー（にわとり）と言います。おじいさんはミントティーを飲み、はちみつをぬったパンを食べたあと、ぐっすり眠り、夢をみました。動物達も納屋でねむり、目をさますと、おじいさんはクリスマスの飾りつけをしていました。実際に音の出る装置がついています。きれいなコラージュ（張り絵）やユニークなしかけで絵本の世界をひろげています。(K. K.)

分類番号 6108 ハ

「まほうのえのぐ」

林明子《子どものとも》傑作集 福音館書店

よしみのお兄ちゃんにスケッチブックとえのぐ箱をもっています。「私もえのぐでかきたい。」お兄ちゃんの大事なまほうのえのぐでよしみはさらさら、ごしごし、ぱたぱた、かさこそ音をたてながら動物達とかいていきました。お兄ちゃんのみた絵はほんもののまほうの絵になっていました。とっても温かく可愛らしい絵本です。(K. K.)

分類番号 6108 セ 1

「世界の名作（12冊シリーズ）」1

青い鳥 原作メーテルリンク 世界文化社

文 高田敏子 絵 いわさきちひろ

メーテルリンクの「人生いかに生きたらいいか」という哲学が夢幻的な童話劇として構成されていて、大人の心をも、子どもの心をもひきつけます。さあみなさんも青い鳥をさがしに出かけてみませんか。(I. M.)

《好きな本をもう一冊ふやしてみませんか》

好きな本をもう一冊ふやしてみませんか。それだけ、あなたの想像力がゆたかになりますよ。本は感受性豊かで、やわらかい心を培ってくれます。

分類番号 6108 カ 10

世界のどうわ 「はだかの王さま」

訳 木村由利子 絵 イブ・タルレ 偕成社

王さまが注文した「ばかな人には見えないという服」がひき起こす大騒ぎ。諷刺の名作は子供に読み聞かせたい童話です。小学初級児が初めて自分で読む本としても最適です。世界のどうわシリーズの中には、他に「3びきの子ぶた、長ぐつをはいたねこ、すずのへいたいさん、みにくいあひるの子、おおかみと七ひきの子やぎ、赤ずきん、ヘンゼルとグレーテル」などもあります。(K. M.)

分類番号 6108 オ

「口で歩く」 丘修三 小峰書店

からだを自分で自由に動かすことのできない主人公タチバナさんが車輪付きの寝椅子に乗って通りかかった人に口で話しかけ、対話しながら次々に押してもらって友人の家まで行く、その散歩の様子を書いたものです。何気ない会話の中に「人は人の中で生きる」という作者のテーマがこめられています。共生の社会の姿をこんな形で子どもさんといっしょに考えてみるのも大切だと思います。(W. T.)

分類番号 6108 コ

「こんのひとみの心の言葉」全5巻 ポプラ社

シンガーソングライターで二児の母親である著者は、学校や家族、親子や友人といった身近な題材を次の5つのテーマに取りあげています。

- ①「なんで学校に行きたくないんだろう？」②「保健室にいたらだめなの？」
- ③「きれいなココロとカラダって？」④「男らしさ・女らしさって何？」
- ⑤「なんのために生きているんだろう？」

生きていくことの喜び・大切さを、押しつけがましくなく、優しい言葉で語りかけてくれる中学生必見のシリーズです。(I. M.)

分類番号 2108 オ J

「子どもたちの戦争」

マリア・オーセイミ著 落合恵子訳 講談社

あなたと同じ年ごろの世界の子どもたちの中には、戦争で想像もできない苦しみを味わっている子どもがたくさんいます。その事実を知って、戦争のむなしさを考えてみてください。(S. N.)

分類番号 8105 キ 11J

「きみにもできる国際交流」①～⑩/⑩オーストラリア・ニュージーランド

監修/竹田いさみ 編・著/こどもくらぶ

国々の衣食住、遊び、地理、民族について多くの写真やイラストで紹介しています。その国に行ってみたくなりました。子どもと一緒に国際社会をのぞいてみませんか。(T. Y.)

分類番号 4209 ソ 1J

「総合学習に役立つボランティア」①～⑦ 子どもくらぶ/編著 偕成社

ボランティア入門から始まり、その基本や考え方をわかりやすく解説しています。これからボランティアに取り組もうとする子ども達にすぐ役立つ実践例も数多く載っています。(T. Y.)

分類番号 1203 ワ J

「レイチェル・カーソン」～沈黙の春で地球の叫びを伝えた科学者～

ジンジャー・ワズワース著 上野恵子訳 偕成社

1962年アメリカで「沈黙の春」という本が出ました。この本は、今クローズアップされているあらゆる環境問題の原点です。「地球の恩人」と呼ばれるレイチェル・カーソンという女性科学者が書きました。その彼女の伝記がわかりやすく語られています。(S. N.)

新着図書が入っています、ご利用ください。

	分類番号	書 名	著 者 名	出 版 社
1	0110ジ	女性の暮らしと生活意識データ集 2004	生活情報センター編集部	生活情報センター
2	1103フ	知ってますか？ジェンダーと人権一問一答	船橋邦子	解放出版社
3	1103マ	グローバル化とジェンダー表象	ヴェラ・マッキー	御茶の水書房
4	1203フ	プロジェクトX挑戦者たち19	NHKプロジェクトX(編)	日本放送出版協会
5	2102カ	役人はなぜウソをつくのか	金子雅臣	日本評論社
6	2104ウ	あなた、それは有罪です！	上野勝	イーグルパブリッシング
7	2205マ	3びきのこぶたと学ぶやさしい会計	松井浩一	総合法令出版
8	2202マ	女人禁制にサヨナラを今どきのしごと事情	松村みち子	行研
9	2205ナ	美人の仕事術	中谷彰弘	全日出版
10	2208タ	インターネット困ったときに開く本	高作義明・山下玲紅	新星出版社
11	2208ニ	メール送信システムの作り方	新居雅行	ソフトバンクパブリッシング
12	3206ヒ	保育の魔法のエッセンス	兵頭恵子	鈴木出版社
13	3210ミ	若者が《社会的弱者》に転落する	宮本みち子	洋泉社
14	3212サ	「いい子」の非行 家裁の非行臨床から	佐々木光郎	春風社
15	4102イ	老人ホーム 淑女・紳士録	岩城祐子	あすなろ社

※お知らせ

当センターでは「絵本の読み聞かせ&ママとパパの読書タイム」を設けております。
毎月第3土曜日、10時～12時まで就学前のお子様をお預かりしております。どうぞご利用ください。
詳しくは、当センター調査研究室または図書室までお気軽にお問い合わせください。

《開催日》 平成16年 8月21日(土) 9月18日(土) 10月16日(土)

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日 前日 9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編 集 後 記

真夏の太陽の下、夏休みに入った子供達の笑顔が輝いています。十四号をお届けします。女性の地位向上の為に努力された方々から学ぶことがたくさんあり、感銘をうけます。私達も立場ごとに其の意志をひきついでいくよう、話し合っていきたいですね。

福島県男女共生センター図書室だより

第 14 号
2004. 7. 20

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

世界の風を受けて！

—視野を広げよう—



発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～TEL0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 1201コ

「行動する女たちが拓いた道—メキシコからニューヨークへ—」
行動する会記録集編集委員会編 未来社

1975年の国際婦人年をきっかけとして、各層の女性達が性差別社会を変えていこうと大きな運動を展開し、男女共同参画社会の実現に立ち向かっていった記録集である。第一章の“マス・メディアの性差別を告発する”では、男性天国だったNHKの姿勢をとりあげ興味深い。その他各テーマごとに、75年代からここに至るまでの女性の向上をめぐる取り組みの過程が具体的で面白く読める本である。(K. K.)

分類番号 8201ア

「アフガニスタン女性の闘い—自由と平和を求めて—」
アフガニスタン国際戦犯民衆法廷実行委員会編 耕文社

武力闘争の続くアフガニスタンにおいて、「もし私が立ち上がり、あなたが立ち上がれば、私たち皆が立ち上がることになるだろう」をモットーに女性の人権と民主主義を求める抵抗運動を続けた女性たちの記録(諸文献)です。

特に聞き取り調査のもとに編集されている第2章のすさまじい現実との戦いの日々のようなすは、日本に生活している私たちには、たいへんショッキングな情報です。アフガニスタンの女性たちが直面している状況をくわしく知ることができる貴重なものです。(I. M.)

分類番号 1501ク

「女性に対する暴力をめぐる10年 —国連人権委員会特別報告書
クマラスワミ最終報告書—」
ラディカ・クマラスワミ著
VAWW-NETジャパン翻訳チーム訳 明石書店

著者のラディカ・クマラスワミは、国連人権委員会の女性に対する暴力に関する特別報告者としての任務を1994～2003年にわたって務めた。本書はその彼女の最終報告の全文訳と付属文書の抄訳である。女性がジェンダーに基づくあらゆる暴力から解放されるために、この10年で法整備がすすみ、問題意識も高まったが、まだまだ課題は山積していることが世界の現状とともによくわかる。少々肩の張る本ではあるが、日本の現代社会においても女性への暴力は決して小さな問題ではないので、根気よく読んでみるのもよいと思う。(S. N.)

世界の風を受けて 視野を広げよう

文明開化の時代から、私達は数多くの世界の文化に触れ、生活習慣に触れ、その影響を受けつつ自己改革を進めてきました。

今回は特に人権という面から活動している世界の女性に目を向け、その様子のわかる本が入っております。また、ごく普通の女性達がさわやかに生きている様子の描かれた本もあります。どうぞ風をいっぱい受けてあなたの視野を広げていってください。



分類番号 1202ベ

「1945年のクリスマス」
ベアテ・シロタ・ゴードン著 柏書房

22歳の若さで、日本国憲法草案の人権条約作成に携わり、女性の権利を明記することに尽力、日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝である。誕生した地ウィーン、両親と少女時代を過ごした東京乃木坂、単身渡米し大戦時を過ごしたアメリカ、そして1945年のクリスマスにGHQ民生局のスタッフとして再来日してから、今日までの活動が書かれています。この本は女性が自立し仕事を持ち、女性の権利獲得のために闘い続ける勇気を与えてくれる一冊です。(K. M.)

分類番号 8201ア

「アウンサンスーチー ビルマからの手紙」
アウンサンスーチー著 毎日新聞社

1995年11月から1年間、毎日新聞に連載された「アウンサンスーチー ビルマからの手紙」をまとめたものです。ビルマの民主化運動の指導者としてノーベル平和賞を受賞していますが、彼女たちの運動を支える思想や本人の実像は、十分に報道されているとはいえません。この著書では、ビルマ(ミャンマー)の自然の変化や人々との交流のようすを、スーチーさんの知性と人間味溢れた文章で描いていて、民衆への深い愛情と強い信念が読み取れる1冊です。(I. M.)

分類番号 1101カ

「韓国の女たち」 増田忠幸 編・訳 草風館

1986年から1989年までの間に韓国の雑誌に掲載されたいろいろな職業の女性達へのインタビュー記事の中から抜粋、「女だてらになんていわせない」「なせばなる」「自分の信じる道を生きてきて」の三つの分野にまとめたものです。最後に編・訳者自身の解説もつけられており、隣国韓国の女性たちへの親近感もぐんと感じられるようになるでしょう。(W. T.)

分類番号 8104ジ

「女性差別撤廃条約とNGO」 赤松良子・山下泰子 監修 明石書店

国連は設立以来、女性の地位向上を大きな目標の1つとしてきた。1979年女性差別撤廃条約が制定され、日本では1985年これを批准した。締約国は実施状況を国連に報告することになっているが、国連ではNGOの正確な実態報告を歓迎している。日本の女性たちは、実態を直接報告するため力を尽くし、女性の地位向上のため貢献してきたのである。まさに、海外からの風を受けて現在の日本女性があるのだろう。この経過を知るにはうってつけの一冊である。(T. Y.)

分類番号 1103カ

「O(オー)の物語」 R. M. カンター 三井マリ子訳 レターボックス社

1989年第1刷発行、もう15年ほど前に出された絵本。絵本といっても、多数者をX、少数者をOで図解した黒と灰色の濃淡の絵に、三井マリ子の大いに苦心した翻訳文がついているだけである。XとOを特に男と女に置きかえて読むと、思い当たることしきりである。15年も前とは思えないほど、日本での状況は今日でもあまり変化していないように思われる。誰もがその人権を守られ、個として自由に生きたいという当然の願いが通用する社会実現のために、どう考えていけばよいのか、その手がかりのひとつとして是非読んでみて。あまり時間はかからないから。(S. N.)

分類番号 2203ア

「均等法をつくる」 赤松良子 勁草書房

著者は1929年生まれで女性の社会進出の草分け的存在であり、男女雇用機会均等法の生みの親である。均等法は1985年に成立し、1997年に改定された。その後、男女共同参画社会基本法が1999年4月1日に施行される。「均等法は適用範囲が雇用の場に限定されているのに対し、基本法は社会全般にわたる事象について広汎なものになっている。この両者が揃って、女性は21世紀に明るい展望をもつことができるようになった」、と記している。(K. K.)

相談室から

相談件数統計概要（平成12年度～平成16年度）

	生き方	男女	夫婦	家族	生活一般	職業	人間関係	法律専門	健康専門	その他	合計
平成12年度	1	3	23	8	8	1	3	4	2	8	61
平成13年度	14	18	81	44	66	11	12	34	11	42	333
平成14年度	19	17	116	54	90	22	17	67	19	94	515
平成15年度	18	28	119	83	179	30	32	86	28	193	796
平成16年度	6	15	87	45	100	7	8	51	9	103	431
合計	58	81	426	234	443	71	72	242	69	440	2136

※平成12年度（平成13年1月～3月） 平成16年度（平成16年4月～10月）

男女共生センターの相談室では、男女が日常生活の中で直面するさまざまな悩みや問題が相談され、解決のお手伝いがなされてきました。平成13年1月からの相談件数をまとめました。年度ごとに相談される方が増えてきています。相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

相談室ご案内

一般相談 0243-23-8320

火～日…9時～12時 13時～16時 水…13時～17時 18時～20時

女性就業援助相談 0243-23-8307

火～日…9時～12時 13時～16時 水…13時～17時 18時～20時

専門相談(予約制) 0243-23-8320

法律相談 第1水曜日 第4水曜日 13時30分～15時30分

健康相談 第2水曜日 第3水曜日 13時30分～15時30分

利用ガイド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日 前日 9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編集後記

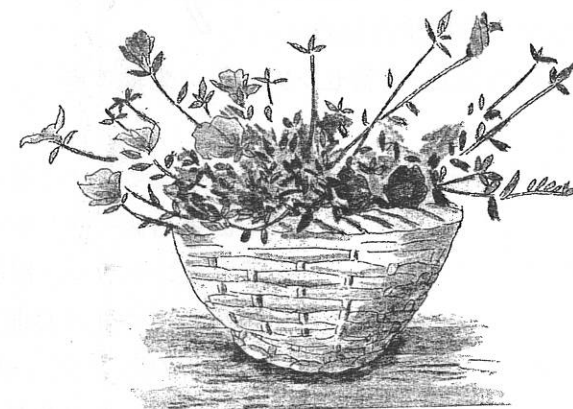
今回はどんなテーマで選書し編集を進めていくか、毎回委員一同喧々諤々意見を交わし合う。真剣な中にも楽しい語らいの時間が過ぎて、その号のテーマが決まる。「散歩道」も十五号になった。毎日の新聞、テレビ、ラジオの報道で暴力に関する報道の多さに目をそむけたくない。でも、これがいまの社会の現実であるならば、私達は何度でも暴力を許さぬ社会を目指す取り組みを続けて行かなければならないと思う。

福島県男女共生センター図書室だより

第15号
2004.11.20

ライブラリー

散歩道



今月のテーマ

暴力を許さない意識

—再びDVを考える—

発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～TEL0243-23-8308（図書室直通）

分類番号 6102ニ

「修羅の棲む家」

西館好子 はまの出版

作家井上ひさしの妻という立場にあった著者の、離婚前後を中心にした私小説とも言える作品である。ドメスティック・バイオレンス、物理的な暴力だけでなく、ことばによる暴力、また、無視という修羅場を体験した著者の、すべてを明らかにした内容に胸を打たれる。(W. T.)

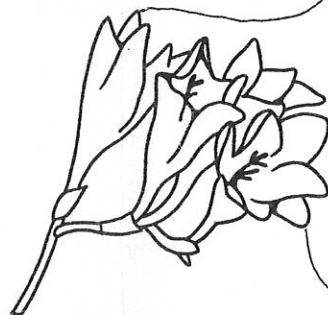
分類番号 3212エJ

「いじめをやっつける本」

ミッシェル・エリオット著 桜内篤子訳 小学館

いじめで悩んでいる子どもたちを、何とか助けたいという思いから書かれたこの本は、子どもたちの生の声を紹介しながら、どう対処したらいいかを提案しています。

「どうせうまくいきっこない」などと最初からあきらめないで、著者の言葉に耳を傾け、ぜひ試してほしい内容です。「いじめをがまんしては絶対いけない。」という思いで書かれています。小、中学生向けですが、大人にも一読の価値があると思います。(I. M.)



分類番号 1501ド

「ドメスティック・バイオレンスへの視点」

—夫・恋人からの暴力の根絶のために—

日本DV防止・情報センター編 朱鷺書房

この本は弁護士として夫婦関係調整のケースを担当し、暴力をふるう夫に耐えるおんなたち(まれには男性の被害もあった)を多く弁護して来た人や学者、ケースワーカー、心理カウンセラー、報道記者など15人が執筆している。虐待される女たちの被害者の心理、虐待する男性の暴力の背景、被害をうけた時の相談所の在り方、一時的に避難する民間シェルターの存在、相談事例や面接時の内容など、それぞれの立場から書かれている。DVの認識を深め、何故おこるのか、どうすれば防止出来るか、その為の対策の必要性をこまかく問いつけている。家庭内の人権を守るための法制化は、2001年10月13日「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」いわゆる「DV防止法」として実現し、3年が経過した今年は、改正DV防止法(12月施行)が成立した。(K. K.)

暴力に屈しないで

暴力は国家間、民族間といった大規模なものからテロ、犯罪、そして夫婦間、親子間、恋人間にも、この地球上のいたるところで見られます。私たちはこの暴力の根絶をすべての人の人権が守られる共生社会の基本であると考えます。改めてDVを中心とする暴力に目を向け、男女共に意識改革を進めていく必要を感じます。未来を担う世代のためにも。

分類番号1501ト

「DV(ドメスティック・バイオレンス)—殴らずにはいられない男たち」

豊田正義著 光文社(光文社新書010)

著者は、DVなどの男女間の問題を主要テーマにしているフリージャーナリストである。この本は副題のように、暴力を振るう側の男性(加害者=夫)の立場に主眼をおきつつ、女性(被害者=妻)の生の声も可能な限り集めて4つのケースからDV問題の本質に迫ろうとしている。話を物語ふう具体的に展開しているので読みやすく、男女双方の心理をよく把握できる。DV問題の基本的理解のために是非お勧めしたい。(S. N.)

分類番号 5207イ

「買春する男たち」

いのうえせつこ 新評論

本文の中に「欧米人は周囲の美しい自然や文化遺産を積極的に鑑賞しようとしているが、日本人旅行者にはそういった姿はあまりみられない」、「セックスには非常に積極的で、来ると必ず女性を求める」等々の文章が日本人の海外旅行に関する現地実態調査からの引用として入っている。現在では国内においても援交などのことばが気安く使われ、少女達に対する暴力が進行していると思われる。どこでこれを食い止めるか、男性の意識改革にかかっている。(W. T.)

分類番号 1102オ

「男に吹く風—「らしさ」の現在—」

沖縄タイムス・ブックレット5 沖縄タイムス社

金融不安、リストラ、少子・高齢者など社会のあちこちに問題が出てきています。これまで日本の経済成長を支えてきたモーレツな働き方に疑問を持つ男性たちが、自分らしく、人間らしく生きていこうとしている懸命な姿を沖縄タイムスの取材によって、それぞれの職場や家庭を中心にさわやかに描いています。

「男らしさや女らしさにとらわれずに、“人間らしさ”というレベルでこだわっていこうと思った」という一人の男性のことばが光っています。ちょっと立ち読みもできそうな一冊です。(I. M.)

分類番号 1501フ

「使いこなそう! ドメスティック・バイオレンス法」

福島瑞穂 明石書店

参議院の共生社会に関する調査会のもとでプロジェクトチームが作られ、ドメスティック・バイオレンス防止法が成立し、2001年10月13日から施行されました。このプロジェクトチームの一員であった著者が、「法律を知ってもらい、活用してもらい、いろんな人に届かなければ、全く絵に描いた餅である」と、この本を作ったものです。

「ドメスティック・バイオレンスって何だろう」から「ドメスティック・バイオレンス法とは」まで、ドメスティック・バイオレンスという言葉は初めて耳にする人にも、とてもわかりやすい内容です。そして、Q・Aで書かれている「こんなときはどうするのか」は、今苦しんでいる人にはすぐに役立つでしょう。(K. M.)

分類番号 2109ジS

人権相談ハンドブック別冊

全国人権相談機関データブック

ニューメディア人権機構編 解放出版社

各都道府県の相談機関が県ごとに掲載されている。内容は住所、電話番号、相談内容、相談日、相談時間等である。例えば福島県の場合、男女共生センター相談室をはじめ県婦人相談所(現在は、女性のための相談支援センター)、県社会福祉協議会、各保健福祉事務所、県高齢者総合相談センター、各児童相談所、各教育事務所、県警察相談センター等が紹介されている。私たちの身近な相談窓口を知っておくのもいいのではないのでしょうか。(T. Y.)

図書室から～おすすめ著者紹介～ 「山田 昌弘さん」(東京学芸大学教授)

「パラサイト・シングル」という言葉の生みの親でもある家族社会学が専攻の社会学者・山田 昌弘さんは、現在社会の家族を取り巻く状況について鋭い指摘をなさっています。

夫婦関係やカップル観、若者の仕事観、またはペット・・・と様々な観点から現在家族の移り変わり、そして男女共同参画社会について論じています。以下の著書が図書室にも揃っています。ぜひ一読を！

番号	書 名	出版社	版 年	分 類
1	希望格差社会「負け組」の絶望感が日本を引き裂く	筑摩書房	2004/11	2106
2	パラサイト社会のゆくえ データで読み解く日本の家族	筑摩書房	2004/10	3201
3	家族ペットやすらぐ相手は、あなただけ	サンマーク出版	2004/05	3201
4	ジェンダーの社会学(改訂新版)	日本放送出版協会	2003/03	1103
5	家族というリスク	勁草書房	2001/10	3201
6	家族本40 歴史をたどることで危機の本質が見えてくる	平凡社	2001/04	3201
7	パラサイト・シングルの時代	筑摩書房	1999/10	3103
8	家族のリストラクチャリング21世紀の夫婦・親子はどう生き残るか	新曜社	1999/09	3201
9	ジェンダーの社会学 女と男の視点からみる現代日本社会	早稲田大学出版部	1999/01	1103
10	結婚の社会学 未婚化・晩婚化はつづくのか	丸善	1996/08	3101
11	近代家族のゆくえ 家族と愛情のパラドックス	新曜社	1994/05	3201

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日前日9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編集後記

避暑ということばがあるのだから、
避寒ということもあつて良いと一月下旬から二月下旬まで石垣島に行ってきました。平均気温十九度という彼地はさすがに暖かくハイビスカスをはじめ色とりどりの花が咲き乱れ、青い珊瑚礁の海とあいまって、ここが本当に日本なのかと思われるようでした。共生センターからお借りした本もじっくり読むことができました。その中から数冊「花かご」の中に入れております。本はいろいろな意味でたくさんの栄養を与えてくれますね。
(W.T.)

発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～ TEL0243-23-8308 (図書室直通)

福島県男女共生センター図書室だより

第16号
2005. 3. 20

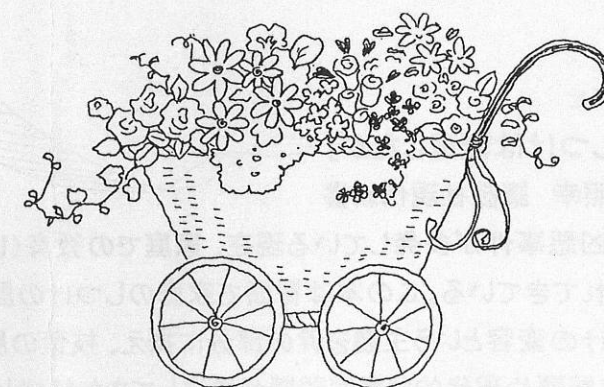
ライブラリー

散歩道

今月のテーマ

本の花かご

— あんな本、こんな本 —



分類番号 4102 ヒ

「父83歳、ボケからの生還」

樋口恵子 現代書館

各分野で活躍する著名な評論家と同姓同名の著者は、講演の依頼があると「あちらは高齢者福祉の、私は障害者福祉の」と言い、障害者福祉と高齢者福祉をつなぎ、誰でもどんな状態になっても自分らしく生を終えられるような社会づくりを目指している。この本は、自身1歳半で結核性のカリエスを患い、障害者としての立場で自立生活運動を続けてきた。幾つもの病いを得て入院、手術、リハビリを繰り返す父親のボケ症状を改善していく過程を、温かい目線で具体的に書いたもの。医療従事者との話し合い、支援センターへの協力依頼や身内との連携プレーでボケを克服し、現在も父は活力ある生活を在宅で可能にしており、説得力がある。(K. K.)

分類番号 4208 ヒ

「火の鳥の女性たち—市民がつぐむ新しい公への挑戦—」

中村順子、森綾子、清原桂子 共著

(株)兵庫ジャーナル社 ひょうご双著6

阪神淡路大震災10年記念出版。著者のコミュニティ・サポートセンター阪神を創設した中村順子、宝塚NPOセンター事務局長の森綾子、兵庫県職員の清原桂子はボランティア活動を通じ、それぞれ立場は異なっても「震災後の復興への情熱」を共通項として住民と行政の「協働」社会をめざして苦闘した。まさに、何度挫折しても、灰の中から甦る火の鳥のように、女性の感性と行動力をフルに生かして努力した彼女たちの記録は多くの示唆を与えてくれる。活字も大きく読みやすい。(S. N.)

分類番号 3207 ヒ

「日本人のしつけは衰退したか」

広田照幸 講談社現代新書

青少年の凶悪事件が多発している現在、家庭での教育(しつけ)の重要性が云われてきている。この本は冒頭で家庭のしつけの歴史をたどりながら、しつけの変容という主題を幹の部分に据え、枝葉の展開としてさまざまな教育問題や現代的な家庭問題が登場してきた経緯とその性格を考えてみたいと記している。家族・地域共同体・学校の三者関係の役割はどう変化しているかを探ることは子供と接していく上で参考になろう。教育学を専攻している著者はあとがきに、苦労したり失敗したりしながら小学生の二人の子を持つ父親としての役目を日々果しているとあり、親しみを感ずる。(K. K.)

何もかもが新しく、眩しい春、うれしい季節ですね。
ひとつのテーマを深く掘り下げるのもいいのですが、いろいろの分野から多様な考え方、見方を広く吸収するのも大切なことだと思えます。事にあたってできるだけ柔軟な対応ができるように。
今月は特にテーマを決めず、ボランティアの関心のおもむくままに選書しました。視野を広げる一助になれば、幸いです。

分類番号 4102 マ

「実践 男の介護」

舛添要一 ブレインキャスト

介護は女がするのが当たり前、特に長男の嫁に介護の重責が押しつけられてきました。男女共同参画社会を実現するために、育児であれ、介護であれ、男もまた立ち上がらなければならないのです。本書は、著者が東京から北九州に通って母を介護した五年間を振り返って、男が介護するとはどういうことなのか、どのような心構えが必要なのか、今の日本に何が欠けているのか、などが書かれています。

当館の図書室にはこの他にも「お年寄り、障害者にやさしい 430軒、全国バリアフリーの宿」など、介護に関する本が多数揃えてあります。(K. M.)

分類番号 1203 マ

「母 住井すゑ」

増田れい子 海竜社

「橋のない川」で有名な作家住井すゑの娘である著者が、ものごころついてから少女期まで母と共に暮らした茨城県牛久沼ほとりでの日々を綴ったものです。

四季折々に変化していく豊かな自然の中で、親子、兄弟姉妹の情愛あふれる日常生活の様子、どこの家にもありそうな夫婦の葛藤などが温かい目で描かれています。

スローライフに満ちています。(I. M.)

分類番号 1201 チ

「智恵子抄」の世界

大島龍彦／大島裕子編著 新典社

高村光太郎の「智恵子抄」は近代日本の詩集の中でも広く人々に読まれ愛されて来ました。この書は、多くの資料をもとに、詩の解説だけでなく智恵子の人間像そのものに迫ろうとしている点が新鮮で、智恵子を育んだ当地に在る者としては特に興味をそそられます。光太郎の人生観、芸術観に共鳴し、同じ理想を持って生きた智恵子の自己を確立した姿に人間としての先取の意志を感じます。(W. T.)

分類番号 3101 オ

「ダーリンは外国人」

小栗左多里 株式会社メディアファクトリー

結婚してどんな暮らしになるかは、夫が日本人かどうかというより、結局はお互いがどんな性格でどこが似ていて、どこが違うのかどうかという問題なのではないかと著者は言っていますが…。

お互いの持つ個性や感受性の違いを認め合うようになるまでの様子や日本語の解釈のしかたなど、笑いを誘われる場面も多く、ストレス(いらいら)解消に最適な一冊です。(I. M.)

分類番号 1203 キ

「父と娘の昭和悲史」

紀平梯子 河出書房新社

市川房枝氏の秘書として婦権運動に入り現在日本婦人有権者同盟会長である著者が、政治学者で東京帝大・九州帝大で教鞭を執った後、朝日新聞論説委員となって、第二次世界大戦の開戦、終戦、戦後の時代を見据えた父、佐々弘雄(さっさひろお)の残した多くの論評、ノートをもとに昭和初年から父の死去した昭和23年までの歴史の流れを書いています。父の見た昭和の様子、更にそれを、現代に生きる娘の目で見えていく構成がわかり易く、激動の時代と言われる昭和史の理解に役立ちます。(W. T.)

分類番号 4203 ト

「豆乳でキレイになる！」

中澤勇二(監修) 小池澄子(協力) 青春出版

豆乳ローションの作り方から料理(飲み物・デザート・和風料理・洋風料理・中華料理)そして、豆乳の成分等について述べている。料理は材料もシンプルで、誰でも作れるメニューばかりである。豆乳は最近では身近な材料になり、健康志向もあって読んでいて飽きなかった。作り方はイラストでわかりやすく、料理初心者・苦手な人にも大丈夫!! この他にも、たくさんの料理の本があって参考になりました。

(T. Y.)

図書室から～おすすめの本～

—男女共同参画関連—

福島県男女共生センター図書室だより

第 17 号
2005. 6. 20

番号	書 名	著 者 名	出 版 社	分 類
1	勝ち犬?おんなのメッセージ	唐麻 好	グラフ社	1101
2	女と男の老友学	樋口 恵子	労働旬報社	4101
3	理科離れしているのは誰か	松村 泰子	日本評論社	1103
4	男の座標軸	鹿嶋 敬	岩波書店	1102
5	定年後実は第二の人生が楽しい事典	舩添 要一	講談社	4101
6	<女性記者>の眼	山城 紀子	ボーダーインク	1101
7	雅子の「反乱」	桜井 大子	社会評論社	1101
8	私と中国とフェミニズム	秋山 洋子	インパクト出版会	1101
9	愛と怒り闘う勇氣	松井 やより	岩波書店	1202
10	装うこと生きること	羽生 清	勁草書房	1201
11	21世紀へつなぐ言葉	小林 登美枝	ドメス出版	1202

○企画展示も行っています!

図書室の入り口の「展示コーナー」では、様々な企画展示を行っています! (筑紫哲也さん ほか)

6月 「男女共同参画週間」関連企画! センター広報誌特集ページを彩った方たち

7月 映画で学ぶ男女共同参画! (予定)

展示している資料も貸し出していますので、ぜひご覧・ご利用ください!

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は

ご遠慮ください。

編集後記

十七号をお届けします。今回も特にテーマは決めず、各自自由に選びました。皆さんは、どんな時、本を手にとられますか。椅子に掛けてじっくり本と向き合う、退屈だからと手近かな本をパラパラとめくってみる、ハードカバーの本を睡眠薬がわりに寝床に持ち込む(私などは、面白い時には、何時間も読んでしまいます)、読みたい本を注文し、本屋から入荷の連絡をもらった時の喜びはいくつになってもいいものです。図書館で目指す本に出会う喜びも大きいですね。どうぞ、当図書室に足をお運びになってください。

(K. K.)



今月のテーマ

続本の花かご

— あんな本、こんな本 —

発行者: 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター ~女と男の未来館~ TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号4207ヨ

「森のチカラ」日本の森林再生プロジェクト 米倉久邦 三五館

めまぐるしい現代社会に暮らす私たちにとって、森や山を歩き、緑を目にすれば、気持ちはリラックスし、新たな活力をもらうことが出来ます。第二次世界大戦の戦中・戦後に乱伐で破壊された日本の森を、人の手でどのように再生されたのか。きれいな空気、おいしい水、安全な食べ物を求めて、林業・農業・漁業などを営む人たちが「森が川をつくり、川が海をつくる」という信念のもとに、困難とぶつかりながらも、長い時(年月)をかけて、森をよみがえらせた記録です。森林インストラクターの資格を持つ筆者が、全国七つの森に足を運び、まとめたもので、挿入されている各地の四季折々の写真も美しく魅せられます。

(I. M.)

分類番号1201ナ

「飛鳥の女帝」 中河原 喬 同成社

私は飛鳥、吉野など万葉歌の跡を訪ねる小旅行に参加して、柿本人麻呂や額田王などの万葉歌人が活躍した時代について詳しく知りたくなりました。この本は第一章“飛鳥の夜明け”から終章“飛鳥の女帝”に至る五つの章で構成され壬申の乱をはさんだ天智、天武、持統の御代とその後について書かれています。実の甥である大津皇子を殺した非情な女性というイメージの持統女帝が、実は藤原京新都を建設し、「倭」の国名を「日本」と改名し、「大王」の称号を「天皇」と称するようにし、中央集権的国家機構を確立させた女性だったということも知りました。万葉歌と合わせ古代史のロマンに触れてみるのもよろしいかと思います。おすすめです。

(W. T.)

分類番号5101マ

「なぜ[いい人]は心を病むのか」

町沢静夫 PHP研究所

著者は精神科医。やさしく語りかけるような文体で綴られており、読み易い。いま社会環境が私たちにとっていかに危険に満ちているか、職場、家庭、夫婦や親子関係さえも、心の病いに突き落とす要因となっていると説き、自分の性格を知ることによって回避していけると分析している。若い人達に読んでもらいたい一冊。

(K. K.)

雨に洗われた木々から滴る雫も、緑に染まって見える季節です。静かに雨の音を聞きながら、本を読む時間、心が落ち着きますね。前号に続き、今回も分野にこだわらず、さまざまな本を選びました。この「本の花かご」の中からどれか一冊でも、みなさんが手に取って下さり、それが心に響く本であつたら、とてもうれしいです。

分類番号4207リ

「リサイクルの百科事典」編集委員長 安井 至 丸善

この本のまえがきには、「本事典は、リサイクルの本質を、単に技術面だけでなく、リサイクル経済とでもいえるような社会システムや法的な枠組みを含め、系統的に整理し記述することによって、現代社会を構成するすべての人々にとって必要な知識を提供することを目的として編集された。」と書かれている。約120名に上る執筆者と13名の編集委員の努力で出来た本である。「リサイクルとは何か」、から始まり廃棄物、使用済み製品、水、アルミやスチール製容器・・・、法律等範囲も幅広い。

(T. Y.)

分類番号3211ク

「ねえママ、どうして私のこと嫌いなのか・・・」 PHP研究所

著・イヴ・ワルピンスキー、ダナ・ウィーケル 訳・上田勢子

この本は、明るく賢い幸せなはずの小さな女の子が、しつけという名の下で、拷問され殺害されていく、最後の数日間(殴られ、食べ物も水も与えられず、石鹸を食べさせられ、寝ることも許されず、裸で何時間も立たされ、アルファベットを暗誦させられた。)を鮮明に表したものです。生前は誰にも聞いてもらえなかったユースラの声が、彼女の死後の今、こうして届いています。この本を読む事によって、私たち一人ひとりが声を聞く勇気を、そして、虐待から子供達を護る必要性を感じてもらえる事が出来ればと思います。

(K. M.)

分類番号2110ス

「自由という服従」 数土直紀著 光文社

私たちは誰も、自由社会に生きており、豊かな生活を享受していると思っています。しかし同時に、この自由社会に生きる息苦しさも感じていますよね。著者は「自由だからこそ人は権力にとらわれていく」、「自由ではないことが問題なんじゃない、自由であることが問題なんだ」という直感を20年にわたって学問的に追及し、身近な社会現象や事例をとりあげながら、私たちが真の意味で「自由である」ことがどれほど困難なことか、わかりやすい語り口で明らかにしていきます。その過程がとても興味深く、私たちが何気なく口にしている「自由」について、改めて深く考えさせられます。

(S. N.)

分類番号6102マ

「介護はしないが遺産は欲しい」 槇村修平 日本図書刊行会

著者は、元家庭裁判所調停委員。実際に扱った6件の事例の進め方と判定結果を記したものである。親の財産をめぐり、一体どんな感情でどんな事情のもとに調停の場にもちこむのか。なぜ裁判にかけてまでも効率よく自分の取り分を主張しようとするのか。その言い争う過程はなまなましく、読む人をとらえてやまない。兄弟姉妹は他人のはじまり・・・、こうならないようにと調停の当事者に願い、持ち込まれるのは複雑な事情とわかっていても、言い争いが憎しみに変わるのを目のあたりにするのは哀しいこととしめくくっている。

(K. K.)

図書室から～おすすめの本～

—コミック中心の本を紹介しします—

番号	書 名	分 類
1	男、台所で遊ぶ—自分発見の旅は、料理ではじまる—	4 2 0 3 オ
2	男と女の法律知識—これだけは知っておきたい—	2 1 0 4 オ
3	お母さん弁護士が答える「子育てママのトラブル解決マニュアル」	2 1 0 4 オ
4	30代、40代から考える「年金の本」	4 1 0 5 イ
5	あなたを狙う詐欺の手口77	4 2 0 2 ヤ
6	若い女性のトラブル解決「女性のための法律Q&A」	2 1 0 4 オ
7	共働きの子育て、父親の子育て	3 2 0 6 ト
8	イラスト版子どものお手伝い—子どもとマスターする49の生活技術	3 2 0 6 イ
9	女性学、男性学—ジェンダー論入門	1 1 0 3 イ

☆図書室に新着図書が入りました!☆

新着図書コーナーに約400冊の新着図書を配架しました!その一部をご紹介します!ぜひご利用ください!

番号	書 名	分 類
1	ジェンダーとジャーナリズムのはざままで	1 1 0 3 モ
2	戦争とジェンダー	1 1 0 3 ワ
3	憲法二四条今、家族のあり方を考える	2 1 0 4 ウ
4	希望のニート 現場からのメッセージ	2 1 0 4 フ
5	女子マネージャーの誕生とメディア スポーツ文化におけるジェンダー形成	6 2 0 1 タ

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日前日9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編集後記

今回新メンバーとして、初めて作成に加
わりました。最初は不安でしたが、年齢の
差に関係なく、みんなでわいわい楽しくで
きました。笑いが絶えず、少々世間話?も
交えながら作成しました。パソコンの操作
も勉強になったと思います。

今までは、この広報誌を未来館に来るた
びにもらっていました。自分自身が執筆
者として参加するとは夢にも思っていま
せんでした。次号も頑張りたいです。

(I. Y. W.)
(Y. S. N.)

福島県男女共生センター図書室だより

第18号
2005. 9. 20

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

男女平等再考

—共生の原点をみつめて—



発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～TEL0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 1103 シ

『ジェンダーフリーを共同で学ぶー「実践」につなぐ講座の記録』 学びを行動にうつす女たちの会 新水社

話を聞いてみるだけでもいいと、気軽に東京都足立区女性総合センター主催の「学習をつくる実践講座」を受講した7人の記録である。ジェンダーフリーの共同学習で、どこをどう学んだかがまとめられている。講座の中身も詳しく載っており、7人がどう問題に向かっていったか、高揚していく雰囲気が伝わって来て何とも頼もしい。記録化することでジェンダーの視点から物事を一つひとつみていけるようになった重みを感じられる。(K. K.)

分類番号 1301 グ

『よその家の夫たち 夫の「男女共生意識」調査から』 グループREN 著 ユック舎

この本は横浜市内に住む、30代から60代の既婚男性を対象に行った「男女共生社会についての情報と意識」の調査、及び、既婚女性に対しての「夫婦のコミュニケーションを中心とした妻の意識」の調査報告をもとにまとめられています。『夫は変わったか?』『過渡期の社会、変わる男たち』など、実例をもとにした分析・考察がなされていますが、対象者が比較的高学歴でサラリーマン・管理職等が多かったということもあり、男女共生社会への認識度、家庭経営への参画度は高いようです。自分を含めた周りの夫たち妻たちが、男女共生社会の中でどのように意識し行動しているか、比較しながら考えていく参考になると思います。(W. T.)

分類番号 2104 ナ

『憲法24条+9条 なぜ男女平等がねられるのか』 中里見 博 かもがわ出版

戦後60年、改憲問題が大きく浮上しています。9条の影に隠れて認識度は低いかもしれませんが、24条の改変問題も、「男女共同参画社会」の基礎中の基礎である男女平等の精神を危うくしかねない重要な問題です。ジェンダー・フリーに対するバッシングをはじめとして、あちらこちらで起きている反動的、復古的な動きと軌を一にする24条改変は、「男は男らしく、女は女らしく」の再構築をめざし、ひいては9条の改変と結びつけて、平和を求めてきた歴史の前進を阻むものと言ってもいいと思います。本書は1. 自民党24条改変論を読み解く、2. 24条の成り立ちと意味、3. 24条の積極的価値の三大テーマに沿って、24条の今日的価値を説いています。男女平等の原点に立ち帰るためにも、是非読んでください。ちなみに著者は、地元の福島大学行政政策学類教員です。(S. N.)

この流れを止めないで！ ー男女共同参画社会基本法から6年ー

分類番号 2203 ス

コミック『男女雇用機会均等法』 監修 男女雇用研究会 作：すずき清志、画：芳賀由香 一橋出版

この本は男女雇用機会均等法について、わかりやすく理解しやすいように書かれたコミック本です。(もちろん内容はフィクションですが…)「男女雇用機会均等法」という法律のため、ちょっと敬遠したくなる人もいるかもしれませんが、なにしろコミックなので簡単に読めてしまいます。

テーマの具体例として「基本的理念は」から始まり、「社員の募集について男女の差をつけないで」、「職場の『配置について』均等法ではどうなる?」、「男女で賃金の差をつけられたらどうするか?」、「結婚、出産を理由の解雇は無効になるか?」等、全部で26のテーマについて描かれています。どれも興味深く、テーマの最後には均等法の第何章、第何条を参照とあるのも参考になります。(T. Y.)

分類番号 1102 サ

『男の勘がよい』 斎藤 学 毎日新聞社

著者は、長年アルコール依存・児童虐待の後遺症・配偶者暴力・少子化などの問題に取り組んでいる精神科医です。臨床医としての相談・治療を通して得た豊富な体験から、現代の親子関係のありようについて、子ども・父親・夫などの立場から、押しつけがましくなく、さらりとヒントを与えてくれています。「父親してるか?男たち」の章では、父親の仕事とは何かを、ちょっとした気持ちのすれ違いに目を向けさせてくれていて面白い。(I. M.)

分類番号 2202 イ

『仕事もしたい。赤ちゃんもほしい』 (新聞記者の出産と育児の日記) 草思社 井上志津

この本は、著者が勤める毎日新聞のHPで、妊娠から職場復帰までの日記を連載したものです。赤ちゃんもほしい、でも仕事もしたいと子どもを産んだ著者が、働きながら子どもを育てることの大変さを知り、でも、子どもを産んで、本当に良かったという日々の心の葛藤が綴ってあります。女性が働く上で、いつかはぶつかる問題だと思います。是非、読んでいただきたい一冊です。(K. M.)

分類番号 1202 ニ 140 『志は高くー人間の記録140ー』 赤松良子、日本図書センター

分類番号 1203 プ 6 『プロジェクトX 挑戦者たち6ージャパンパワー、飛翔』NHK プロジェクトX 制作班編

戦後多くの職場や雇用場で女性差別が温存していた。それらの撤廃を目指したのが1985年制定の男女雇用機会均等法であった。この均等法制定にはもちろん女性たちも関わっていた。その女性たちを取り上げたのがこの2冊である。

『志は高く』は、男女雇用機会均等法成立当時、労働省婦人少年局長であった赤松良子氏の自伝である。その生い立ちから婦人少年局長になるまでを、赤松氏が執筆したものやインタビュー等を再構成しながらまとめている。一方『プロジェクトX』の第6巻に収録されている「女たちの10年戦争ー『男女雇用機会均等法』誕生」では赤松氏のことに加えて、法律制定に携わった労働省婦人少年局のスタッフや、法律制定をめぐる使用者側と労働者側とで激論が交わされた審議会の様子が述べられている。これら2冊の記述からは均等法制定に向けて多くの女性たちの平等を願う思いがこめられていたことがわかる。それゆえに関わる女性たちは安易な妥協を避けたかったのだろう。均等法は本当にぎりぎりのところで成立したものであった。

男女雇用機会均等法が成立し、雇用の男女平等が実現するまでには多くの人の努力が払われている事を読み取って欲しい。(I. Y.)

ビデオ 『対談 女性たちにとっての日本国憲法』

日本の憲法や女性について、ベアテ・シロタ・ゴードンと土井たか子に対談したビデオである。ベアテは日本国憲法に女性の権利を盛り込んだ人である。彼女は、たくさんの条文を提案したが、ほとんどが無視され、取り入れられたのは、第14条と第24条の二つだけであった。第14条では法の下での平等を、第24条では、夫婦平等を定めている。対談を聞いている人の中には男性の姿もみられ、女性のために真剣に考えてくれている人もいるのだと感動した。私自身は性差別を受けた意識が無く、今まで男女平等という言葉にピンときたことがなかったが、このビデオを見てその大切さが分かった。

ベアテに興味がある人、また、男女平等や法について知りたい人は、ぜひ見てほしい。(Y. S.)

ビデオ

『ベアテのニッポンだいすきアジア大好き』

自らの半生を懐かしそうに振り返り、流暢な日本語でお話されるベアテ・シロタ・ゴードンさん。自らもユダヤ人であり差別された過去を持つ彼女だからこそ、弱い立場に立たされていた女性の人権を確立するために懸命に働きかけたのだと思いました。短いながらも、彼女の人生をなぞることが出来る貴重なビデオであると思います。数々の民族芸術を世に送り出した彼女は、芸術方面にもかなり精通していることがうかがえます。今まで知られてきたのとはまた一味違った彼女に出会えることでしょう。(W. N.)

図書室から～おすすめの本～

番号	書名	著編者	出版社	分類
1	男を脱ぐ！ ―ジェンダーが救う新・サラリーマン幸福論	薦森樹	全日出版	1102 ツ
2	「男だてら」に「女泣き」―ジェンダーと男女共同参画社会入門	奥山和弘	文芸社	1301 オ
3	脱暴力のプログラム―男のためのハンドブック	ダニエル・J・ワキンほか	青木書店	1501 ソ
4	女性のためのケアする仕事	斉藤弘子	彩流社	2205 サ
5	女性のための「食べもの屋」開業術	勝身利子	晶文社出版	2206 カ
6	女性のための経営がわかる本	長野県商工会女性部連合会	信濃毎日新聞社	2206 ジ
7	女たちの成功物語	山中隆起ほか	半蔵門出版	2206 ヤ
8	「農」を舞台にした東北の活力と創造と	東北産業活性化センター	日本地域社会研究所	4208 ソ
9	中高年自殺―その実態と予防のために	高橋祥友	筑摩書房	5101 タ
10	課長かつちゃんうつからの生還	武田克也	日本経済新聞	5101 タ

福島県男女共生センター図書室だより

第 19号
2005.12.20

ライブラリー

散歩道

映画「カレンダー・ガールズ」を観て

11月26日(土)、未来館シネマ倶楽部主催の「カレンダー・ガールズ」上映会がありました。これは1999年、英国の小さな田舎町で本当にあったある婦人団体の活動の物語です。病院のイスのクッションが固いのでイスを寄付しようと始まったカレンダー作り。彼女達が自らモデルとなって作られた12ヶ月のヌードのカレンダーは、日常の生活、そこはキッチンであり居間でありその中にさりげなく配されたごく普通の女性達の像でした。彼女達の大きな勇気、心の冒険、笑いあり涙あり、そして私達にもまだまだ何か出来ると勇気がもたらえた映画でした。(K. M. / W. T.)

利用ガイド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日前日9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は

ご遠慮ください。

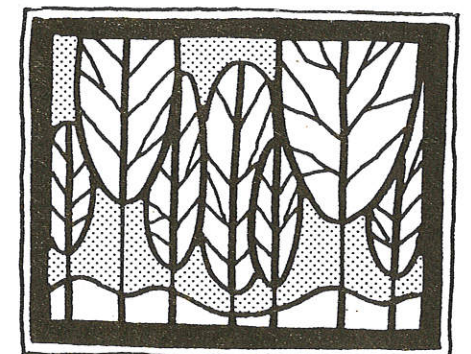
編集後記

つい先日まで小春日和を楽しんでいたのに、今は安達太良連峰もすっかり雪景色になりました。
ライブラリー『散歩道』も共生の原点を見つめて選書が続け、十九号まで漕ぎつけました。前号からは、若いメンバーが三人加わり、選書の内容も幅広く、フレッシュな意見で紙面もさらに充実してきました。
今回のテーマ「続・男女平等再考」の選書について、ご感想や推薦したい本などありましたら、ぜひご意見をお寄せください。メンバー一同うれしく思います。(I. M.)

今月のテーマ

続・男女平等再考

―共生の原点をみつめて―



発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～ TEL0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 1301 ダ

『男女共同参画社会と学校教育』

—男女共同参画社会の形成に向けて学校は何をすべきか—

広岡守穂編 教育開発研究所

男女共同参画の課題は、家庭・職場・地域・法制度・教育・慣習等々、社会のあらゆる分野にまたがっている。柔軟であり、新しい考え方を受け入れる素地と能力を持っている子どもの時から学校教育によって男女共同参画意識を持つ若い世代を育てていくことが重要である。

この本は学校教育での課題をいろいろな角度から取り上げ、わかりやすく解説している。執筆者は、大学教授・新聞記者・弁護士など多彩で学校教育における男女共同参画理念の理解を促すための意識啓発に役立つものと思われる。(K. K.)

分類番号 1301 ジ

『ジェンダーで社会政策をひらく』

佛教大学総合研究所編 ミネルヴァ書房

職場のジェンダー問題や社会政策、福祉、そして家族法等の様々な視点からジェンダーを考察しています。また、資本主義政策の見地からの視点も踏まえながら、今日的テーマの問題点を解き明かそうという主旨のもと制作された本です。ぜひ手に取ってみて下さい。(W. N.)

分類番号 3206 フ2

『父子手帖』(Part II 乳幼児)

汐見稔幸／田中千穂子／土谷みち子著
小泉のみ子絵 大月書店

これから子育てをするお父さん、今子育てしている新米パパを応援する育児入門書です。子育てはお母さんがするものという考えから、お父さんも積極的に関わるのがあたりまえとなってきたように思われます。多くのお父さんが育児に直面した時にぶつかるさまざまな問題を具体的に取あげて、Q & A方式でわかりやすく応えています。父親側から見た育児とその葛藤が率直に表れ、「お父さんががんばれ、お母さんががんばれ」と応援してしまいます。(T. Y.)

分類番号 130 ザ

マンガ『男社会の常識・非常識』 財務省印刷局編・発行

これは、女性への差別をテーマにしたものです。それぞれが8コママンガなので、読み易くなっています。女性の差別だけでなく、高齢者への偏見にも及んでいます。私は、この本を読むまで、女性への差別をあまり感じたことがありませんでしたが、私も一女性として男女不平等の社会の中で生きてきて、慣れきってしまっているということに気づかされました。私は、この本から女性にとっての過酷な職場差別を痛感し、改めて将来の生き方を考えることができました。互いを認め合い、自分の個性を発揮していきたいです。大人向けのマンガで、特に男性の方におすすめです。ぜひ読んでみてください。(Y. S.)

みんなが生きやすい世の中に

「生きやすい」とはどういうことなのでしょう。それは根本において自分が自分らしく生きることができるということ、と思います。

そのような世の中をめざして一歩ずつでも前進していきたいですね。

分類番号 1101 キ

『良妻賢母の誕生 (ちくま新書 039)』

清永孝著 筑摩書房

著者は定年退職後、日本近代史の研究を始め、特に大正時代の新聞・雑誌等から庶民の肉声を丹念に拾い上げ、歴史の表舞台に表れていない「大正デモクラシーの裏通り」(著者の言葉)に光を当てる取り組みをしてきた。本書はその手法で、男性上位社会における家族制度の下で、いわゆる良妻賢母としての生き方を強いられてきた女性達に焦点を合わせ、男尊女卑・女性差別の影が今なお社会の底流に濃い影を落としているのではないかと問いかけている。新聞・雑誌からの引用文を駆使して構成されているので、読んで面白く、その中でいつの間にか深く考えさせられる一冊である。(S. M.)

分類番号 6106 タ

『女性が映画をつくるということ』

高野悦子著 朝日新聞社

1992年に、朝日新聞社から出版した『私のシネマ宣言—映像が女性で輝く時』を改題して朝日文庫にしたものです。

世界の映画黄金時代と言われる時代は男性監督によってのみ築きあげられてきました。後に、映画の世界にも女性監督がかつての映画史上にはなかった新鮮な女性の視点で、自らの手で、かくありたい女性像とかくあつて欲しい男性像を描き始めました。本書には、「男性社会」であった映画世界での女性の近年の活躍に自らの映画人生を重ねて、さわやかに女性の生き方を綴っています。(K. M.)

分類番号 1202 サ

『何があっても大丈夫』

櫻井よし子著 新潮社

著者は、1945年敗戦の混乱の中ベトナムの野戦病院で生まれた。この本は、明治・大正・昭和・平成と続く日本の激動の時代に、個人の力では拒否することも変えることも出来なかった自分の人生に誠実に向き合っ、その中で最善の選択を重ねながら生きてきた一人の女性(著者の母)の一生が描かれている。

ニュースキャスターから社会派ジャーナリストとして論陣を張り、活躍中の著者があるのは、まさに暗く救いようの無いと思えるような境遇にあっても、一人の人間として自立し、常に前向きに生きた母親に導かれ育てられたからだと思えた。「何があっても大丈夫」と言い切れる強い自信と自負は著者の中にしっかりと受け継がれているように思える。(W. T.)

分類番号 2106 カ

『<私>の愛国心』 香山リカ著 ちくま新書 筑摩書房

今、憲法改正や教育基本法の改正が検討されていることから、この本では教育基本法改正の最大のポイントである「愛国心」について、なぜいま「愛国心」は教育基本法に盛り込まれようとしているのかについて論じている。

最近加速してきている少年事件やジェンダーフリーへのバックラッシュ、女性の平和主義、精神医療の転機に関する問題点など、いろんな角度から切り込んでいる。筆者は現代人の心の問題を中心に、精神科医としてさまざまなメディアで発言を続けており、社会・文化批評に定評がある。

この本の中でも、香山流の弱者や少数者を受け入れる心、いろんな人がいることを喜べる社会でありたいという願いを込めながら書かれている。(I. M.)

分類番号 1201 イ

『闘う女性の二〇世紀—地域社会と生き方の視点から—』

伊藤康子著 吉川弘文館

戦前期日本の女性たちは民法等の規定により無権利状態に置かれていた。こうした無権利状態にあった地域に住む無名女性たちが自立を求めて戦前・戦後を通じて闘う様子が本書に記されている。

本書では、女性の自立を求める闘いとして婦人参政権を求める運動や婦人参政権獲得後、その真の実現を目指していく政治分野での闘い、労働における男女平等を目指す労働分野での闘いが記されている。

これらの闘いに加わった女性たちを見ていくと、人間としてのたくましさや誇りを感じる。それは女性たちが自立し、自分たちにとって暮らしやすい社会を作り出すために全神経を集中して行動していたからであろう。

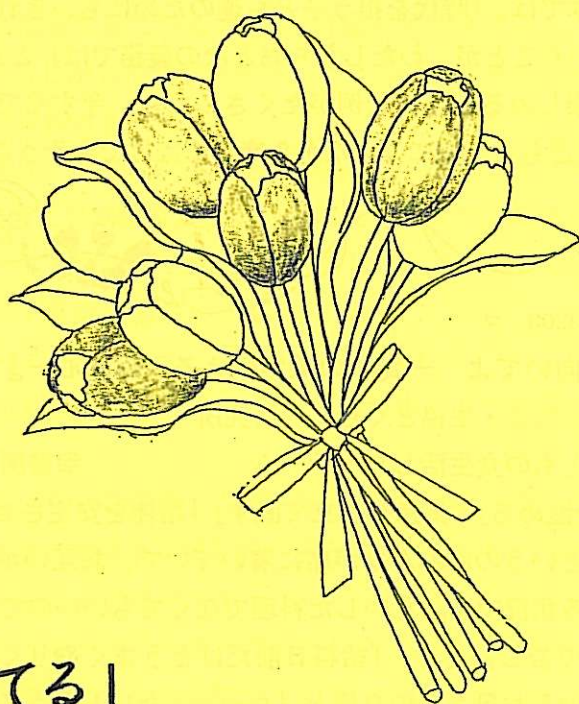
こうした先人たちの記録を読み、今後の活動の参考にしてほしい。(I. Y.)

福島県男女共生センター図書室だより

第20号
2005.3.20

ライブラリー

散歩道



今月のテーマ

「子どもはSOSを發してる」

—気づいてやるのはおとなたち—

『大人の知らない子どもたち』

ーネット、ケータイ文化が子どもを変えたー』

今 一生著 学事出版

90年代後半以降インターネット、携帯電話といったIT機器が爆発的に普及し、若者たちの多くが利用する状況になった。その一方でIT機器を利用した犯罪、事件が続出し、マスコミなどで報道されている。

本書では若者たちの中にIT機器が普及していったゆえに発生した事象やその事象に関するキーワードを紹介・解説している。

本書の中で述べられている事象について大人たちは「耳の痛い話」「都合の悪い話」だといって敬遠するかもしれない。しかしそうした現実を直視し、その上で若者たちと向き合うことで若者に対する理解が深まってくるものと思われる。本書は大人たちが若者との関係をはかる上で再考を促す一冊である。(I. Y.)

分類番号 4207 コ

『子どもとはじめるエコライフ』

熊澤幸子監修 フレーベル館

私たちは、毎日のくらしを何気なく過ごしていることも多く、何が健康によいのか、何が環境によい選択なのかを時間をかけじっくり考えることはあまりないのではと感じている。

この本では、「時代を担う子ども達のためにも、きれいな環境を残していくことが、わたしたちおとなの義務では」と述べている。親子で楽しめる具体的な例がたくさんあり、今すぐできるものばかり。子どもと一緒に考えながら楽しく実行できそうだ。(T. Y.)

分類番号 3203 コ

『こっち向いてよ ー食卓の絵が伝える子供の心ー』室田洋子編

協力さいたま・生協とくらしの研究所

子どもの食生活しらべチーム

幸書房

《「心を温める」「気持ちを立て直す」「精神を安定させる」ー心を育てる食卓というのみんなが席に着いていて、お互いが機嫌よく食べあっている状況です。たいした料理でなくてもいいのです。

給料前の苦しいとき、「給料日前だけどうまくやりくりしたでしょう？」というお母さんの自信と「ウーン、たいしたものだ」というお父さんの満足げな顔ーこれだけでいいのです。》

この本の 66～67 ページに出てくる文章です。一番印象に残りました。こういう食事風景が子どもの心を豊かに育てる原点です。時代の変化と共に失われてきたこの原点に立ち戻ることがどんなに重要かを痛切に感じさせる本です。(S. N.)



声なき声に耳を

ー子どもの心を知ろうー

もしかして、私たち大人は
本来子どもが持っているはずの
「子どもの世界」を
子どものためという大義名分のもとに
取り上げてしまっていないか。
家庭で、地域で、学校で、社会で……。

分類番号 3210 フ

『子どもを支える ー子どもの発達臨床とこれからー』

深谷和子著 北大路書房

著者は東京教育大学(現筑波大学)の教育相談研究所の助手として子どもの臨床に関わった後、研究調査チームを作り子どもの発達臨床を手がけている。

この本は大きな社会変化の中で育ってきている子どもの問題が、調査室での豊富な内容からすぐ役立つものとして書かれている。養護教諭の感じている最近の子どもの姿や親たちの項は最近多くなっている保健室登校などの実態と併せて興味深いものがある。

様々な変化で家庭、地域、学校という三つの生活の場がそれぞれ「子育ての場」を失ってきた今、おとなはそれに代わる「子育ての力」をどのように用意していけばいいかそれに答えていける一冊である。(K. K.)

分類番号 3210 タ

『おばけになりたい ー保健室に逃げこむ子どもたちー』

田村 文著 河出書房新社

教育問題を担当する記者である筆者が、数年にわたって取材した一人の小学校の養護教師と子どもたちとののかかわりの記録である。大人たちのストレスや社会のひずみが重なり、一番弱い存在である子どもたちに、「虐待」という形になって重くのしかかってきている。数人の子どもの成長を追いながら、保健室から何が見え何が見えなかったのか、試行錯誤し、子どもや親との信頼関係を築いていこうとする養護教師の奮闘ぶりに親近感がもてる。親や教師はもちろん、子どもの成長に関わるいろんな立場の人(子どもの保護や支援に関わる人たちにも)に、子どもとの接し方についてヒントとなることを見出せることだろう。(I. M.)

分類番号 3206 フ

『なぜ、その子供は腕のない絵を描いたか』

藤原智美著、祥伝社

子ども達の描いた絵を通じて、子どもの知能、生育状況、人格形成の段階等を調べているある教育研究所の取材から、著者は、ここ十数年の間に進行しつつある子ども達の異変について知らされる。

更に小学校の取材を続けて、授業中席に着き、私語をせず、教師の言葉に耳をかたむけるという基本的なことのできない一年生が増えてきているという実態から、なぜそのようになってきているのか、「育児イデオロギー」、「スキンシップ育児」、「親心」がもしかして幼児「虐待」とでもいうべきものになっているのではないかと問題を投げかける。

母親が圧迫される密室育児、子どもの自立を阻む過保護の実態、それを助長するまわりの空気、行き過ぎた早期教育が子どもの成長をアンバランスなものとし、本来子どもが持つべき「子どもの世界」を解体してしまっていると、子どもの育て方の現状について警鐘を鳴らしている。(W. T.)

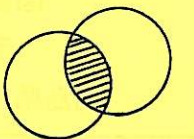
.....

著者が単行本や雑誌の取材に全国の小学校などを訪ね歩くうちに子どもたちの「異変」に気づく。

6歳の女の子が描いた腕のない自画像、川が四角や丸にしか見えない子どもたち、三角や四角を重ねて描く積み木人間を描く子どもたち、「ひとつふたつ」という言葉さえ知らない子どもたちなどなど。

どうしてその様な絵を描く子どもたちが、増えてしまったのだろうか？

子どもの危機は社会の人間そのものの危機でもあり、その子どもたちの成長する「場」をもっと社会全体で考える必要があると考えさせられた本である。(K. M.)



図書室から 新着本からのおすすめ

番号	書 名	著編者	出版社	分類番号
1	女という病 *女性が主役と思われるいくつかの事件を取り上げ、そこにある女性の自意識の問題を解析している	中村うさぎ	新潮社	1101 ナ
2	ありがとう おかげさま *いのちとは何か、生きるとは何か、生きる意味、生かされている真理、いのちの原点を見つめて	下村 満子編	海竜社	2110 シ
3	僕もピアノが弾けたよ *知的障害をもつ仲間と奏でる純粋な音色が大きな評判をよんでいます	成田 文忠	とびら社	4103 ナ
4	おとうさんの育自書 *おとうさんになるってどういうこと？ 子どもを育てるってどういうこと？ おとうさんはどんなときもいっしょうけんめい	宮田 達也	学習研究社	3206 ミ
5	「ニートな子」をもつ親へ贈る本 *ニートの問題は社会問題であり、みんなの課題でもある	澤井 繁男	PHP研究所	3210 サ
6	空気の読めない夫たち *そんな夫を持ってしまったがために、かなりのストレスを抱えている世の奥様方に捧げます	横井 暁子	ポプラ社	3202 ヨ
7	そのひとことが言えたら・・・ *働く女性のための総合的交渉術	L. バブコック S. ラシェーヴァー共著 森永 康子訳	北大路書房	2202 バ

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日 前日 9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話は
ご遠慮ください。

編集後記

もうそろそろ吾妻山の「雪うさぎ」が見られる頃となりました。

三月四月は特に忙しい毎日の事と思います。そんな中、ほんの少しの時間を利用して当館の図書室に足を運んでみませんか。今回は子どもに関する本を選書してみました。今の子ども達は沢山の問題や不安を抱えています。休みの期間を利用して親子や家族で、もつともつとゆっくりと子どもに接し、考えてみてはいかがでしょうか。

(K・M)

発行者：福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター ～女と男の未来館～TEL0243-23-8308 (図書室直通)